

# 市民記者が行く！広報サポーターレポート

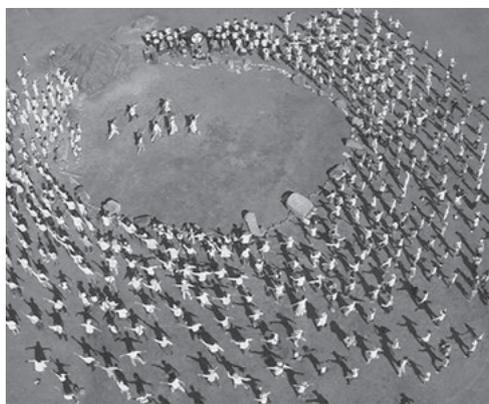
## 西尾市民全体で盛り上げる 市民映画『オシニ』シリーズ



広報サポーター  
西部妙子さん(今川町)

今回は、西尾市の魅力を再発見・PRし、次世代を育成するために企画・製作された市民映画『オシニ』シリーズをレポートします。実は私も自身も出演者として参加させていただいているんです。

1作目『オシニ』は、国を救う力を持った石キアラを巡る物語。キアラはオシニという国の各地で不思議な出来事を引き起こしていきます。ちなみに雲母(きらら)は昔、八ツ面山で採取され、鎌倉時代の「吉良荘」という地名の語源にもなっているのだそうです。幡頭神社若一神社、稻荷山茶園、久麻久神社、愛知こどもの国など市内各地がロケ地となっていて、普段見慣れた風景が映画の中でのように映っているかを見るのも楽しいです。



『オシニ』愛知こどもの国でのワンシーン

2作目『オシニジャヤーX』は、食べ物があふれる現代の日本の飽食偏食にスポットを当てた物語。西尾市観光親善大使の南翔太さんが演じるオシニジャヤーX黒たちが活躍するヒーローものになっています。翔太さんの出身地である幡豆地区が主なロケ地になっていて、第1回上映会も幡豆ふれあいセンターで行われました。

映画製作はお金と時間のかかる事業です。予算内に収め、限られた上映時間の中で、作品のテーマをいかに訴えるかが勝負です。間近で見ていると、監督という仕事は大変であるけれどもやりがいのある仕事だと感じました。『オシニ』は、石丸みどり監督の手によって西尾市の歴史や文化が調べ上げられ、全てのものごとには二つの側面があるという「表裏一体」をテーマとして、脚本が書かれているのだそうです。これらのことを踏まえて、見直してみるのもいいかもしれません。

『オシニ』はDVDが岩瀬文庫で販売され、図書館でも貸出されています。『オシニジャヤーX』は市内で巡回上映会が行われていて、近い時期では8月6日(土)午前10時に一色学びの館で上映されます。

西尾市映画製作実行委員会では第3作目製作の期待も高まっています。今度はあなたの出演もありませんよ。

市内で見知らぬ人から「映画で見ましたよ」と声を掛けられることがあります。もっともっとと作品を見ていただいて、西尾市民全体で盛り上げていただきたいと思います。これは天使(『オシニジャヤーX』での筆者の役柄)からお願いです♡

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。



『オシニジャヤーX』幡豆小学校での記念撮影